

東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査研究（概要）

研究趣旨

以下に資するため、東日本大震災に伴う被災者の心身の負担等による健康影響を、10年間にわたり把握する。

- ①東日本大震災被災者への適切な健康管理の実施
- ②今後の重大災害時の健康支援のあり方の検討

主な調査内容

被災者の健康状態
等に関する調査

被災
直後

避難
所

仮設住宅

自宅

健康診査等による評価

H23年度から10カ年のフォローを予定

（平成24年度～ 厚労科研「健康安全・危機管理対策総合研究事業」にて実施）

コア調査項目

- ・氏名、性別、年齢、生年月日、居住地（被災前・被災後）、被災状況
- ・疾患（生活習慣病等）、歯科保健、栄養、心の健康等に関する基本的な項目
- ・健診：身体測定、血液検査、呼吸・循環機能ほか



被災者の特性に応じた追加調査

- ・透析患者、難病患者、がん患者
- ・妊婦、乳幼児
- ・障害者（身体・知的・精神）
- ・高齢者（生活不活発病、認知症等）
- ・PTSD 等

長期追跡調査による評価

脳卒中・心疾患・がんの罹患状況、死亡状況調査、医療受療状況、介護情報等に基づき、被災状況別にみた長期追跡調査を行う。

- 毎年定期的に、コア調査および該当者への追加調査を実施する。平成24年度は2万人を対象（予算積算）
- 調査により、必要に応じ、保健指導（個別相談、栄養・運動指導等）、医療機関等への紹介を行う。
- 調査は10年間の計画で実施、今後の災害発生時の被災者の健康管理に資するものとする。

※H23年度には、このほか避難所運営等に関する「被災者を支える体制に関する調査」を併せて実施